

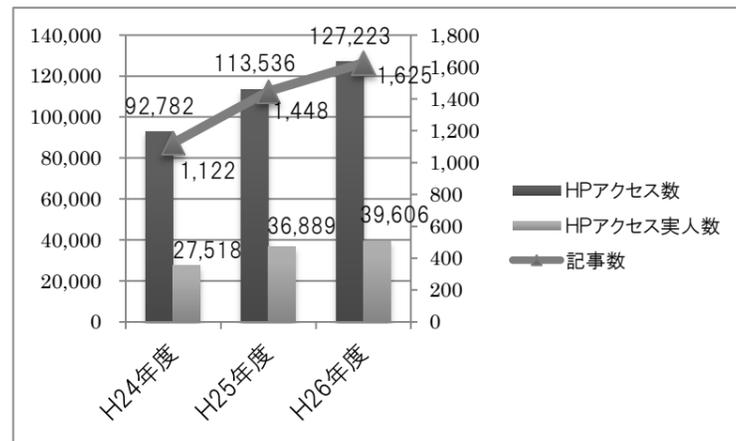
平成26年度 数字で見る さぼらんて

■主な利用数値

□登録団体 290 団体(平成 26 年度新規登録 23 団体、解散等 26 団体)

項目	年間	月平均
入館者数	28,861 人	2,405 人
相談	501 件	42 件
問い合わせ	443 件	37 件
会議室利用	362 件	30 件
印刷機利用	303 件	25 件
持ち込みイベント	166 日	
機材貸出し	241 件	

■主な情報発信支援成果数値



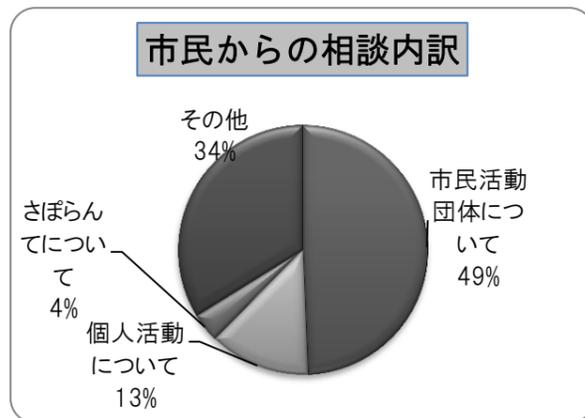
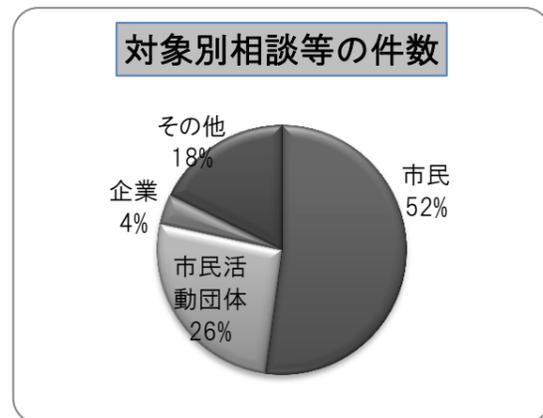
入館者はわずかに減少しているけど、相談件数は増加!

HPアクセス数は順調に伸び、1か月1万件を超えたよ!

登録団体のうち、まちサポ広場の利用団体は55団体(昨年比14団体増)。

■相談等内訳

<相談と特記事項がある問い合わせの合計 750 件を分類したもので相談数値集計とは一致していません。>



さぼらんてでは、相談を支援の基本においています。職員がカードに記入した相談と特記事項のある問い合わせを合計分類すると、市民から 391 件 (52%)、市民活動団体から 197 件 (26%) となっています。半数を占める市民からの相談は、市民活動団体について 193 件 (49%)、個人的活動について 51 件 (13%) となっています。市民からは、登録団体との橋渡しや、団体の立ち上げ、社会課題を放っておけない気持ちの整理など公共サービスとしての市民団体への期待や、活動への一歩へのニーズがあると感じます。市民活動団体からの相談は、運営についてが 43 件 (22%)、活動について 152 件 (77%) となっています。



〒753-0047
 山口市道場門前 1-2-19
 Tel : 083-901-1166
 Fax : 083-901-1165
 E-mail : saporant@c-able.ne.jp
 URL : <http://www.saporant.jp>

さぼらんてだより 号外

平成 27 年 5 月

平成 26 年度さぼらんて事業報告 簡易版

さぼらんての 支援テーマ

市民活動団体は、現状の行政サービスでは解決できない社会課題への取り組みや、誰もが笑顔で過ごせる未来を創るために活動をしています。その市民活動団体が自由に活動展開できるように平成 26 年度は、

■市民活動団体の情報発信力を支援

市民活動への理解者、協力者を増やしていくために、わかりやすく、メッセージ性のある情報発信力を支援。

■市民活動団体の運営力を支援

新しい公共の担い手として、社会的信頼の得られる組織運営を支援。

■ホームページへの市民活動団体情報の集積

さぼらんてホームページの「まちサポ広場」の活用推進、市民活動に興味のある市民が活動を始めるための情報、市民活動をしている人が活動を充実させる情報の集積。

上記を重点テーマとして事業を行いました。この事業報告簡易版では、昨年度のさぼらんての主な事業を簡単に紹介します。事業の詳細については、さぼらんてホームページの「さぼレポ」、「お知らせ」の中の平成 26 年度の事業報告をご覧ください。

平成 27 年度は、

■市民活動団体の発信力を支援し、ホームページへ市民活動団体情報を充実

■NPOの運営支援

■活動するための始めの一歩の支援

を重点テーマとして事業展開していきます。事業内容は、「平成 27 年度の主な事業・サービス保存版」をご覧ください。講座等については、ホームページ上でお知らせしていくほか、登録団体へは偶数月にさぼらんて情報としてお届けします。

さぼらんてでは、山口市協働推進条例、協働推進プランに基づいて、市民が相互にその特徴を認め合いながら、それぞれの役割分担を果たし公共を支えている、「個性豊かで活力のある自立した山口市」を市民活動支援を通してめざしています。



活動の見える化支援 よい団体は、よい活動とよい情報発信！

■ブログ講座

お金をかけずに団体のHP機能を持ち、社会に信頼してもらえる情報発信ができるように、ブログの基本及びステップアップを学べる講座を開催。

①信頼度アップにNPOブログづくり

開催日：6/19（木） 講師：千々松葉子氏 参加者：4団体5名

②アクセスアップのNPOブログづくり

開催日：7/28（月） 講師：千々松葉子氏 参加者：4団体6名
前半は、団体内の新人ブログ担当者を対象に「なぜ今インターネットでの情報発信なのか」を盛り込み、情報の蓄積、情報開示で信頼を得

る基本を学びました。後半は、市民のアクションにつながるブログ記事の成功例を共有し、簡単カスタマイズ、アクセス解析を学びました。

※さぼらんででは、広告のつかないブログサイトCANPANブログ（日本財団運営）を推奨しています。CANPANブログのカスタマイズは、さぼろぐ（さぼらんでブログ）のサイドメニューの「CANPANマニア」（千々松講師のブログ）をご覧ください。

←講座に参加できなかったかたへご報告です！



③Facebook活用講座

開催日：9/26（金） 講師：山田泰久氏 参加者：6団体10名

情報発信の最終目的は「アクション」につなげること。ツールそれぞれの特性をつかみ、どう使い分けるかのコツやポイントを交えながらじっくり学びました。

NPO を学ぶ NPO が学ぶ NPO を広げる

■NPOの花道 <市民活動充実講座>

①収益事業を行うための税務の基礎知識

開催日：7/3（木） 講師：大原修至氏 参加者：12名
「儲けたら課税」「使ったら課税」「財産に課税」という場面ごとの税務の知識を中学生にもわかるように説明してもらいました。

②NPO法の意義と特徴

開催日：8/28（木） 講師：則近久美子氏 参加者：9名
市民の社会貢献活動の健全な発展を促進するNPO法の意義とNPO法人の社会的責任を学びました。

③認定NPO法人への道 開催日：10/9（木） 講師：安仲宏史氏 参加者：9名

山口県内でも3法人しかない認定NPO法人。取得の要件と、メリット、初めの一步を学びました。

④白書・データ活用入門 開催日：11/20（木） 講師：小谷典子氏 参加者9名

既存の莫大な手間がかけられ導き出された数値を賢く活用するための基礎を習いました。

⑤NPO入門 開催日：12/16（火） 講師：渡邊洋子氏 参加者12名

市民も公共を支える地域に向けてのNPOの役割と制度的な義務を学びました。

⑥NPO法人申請手続き 開催日：3/17（火） 講師：則近久美子氏 参加者9名

⑤の参加者の希望により、実際にNPO法人格取得に向けての手続きを学びました。

NPOの花道の内容は、さぼらんでHPの講座レポートで閲覧OK!



■NPO法人連絡会

開催日：6/12（木） 参加者：9法人12名

アドバイザー：井野口房雄氏、安仲宏史氏

市内のNPO法人お互いの社会的意義を共有し、現状の運営課題に積極的に取り組み、寄附や収益も含めた多様な財源確保への道を探るために開催。



■NPO 法人のマネジメント力向上

①NPOマネジメントの基本セオリーを学ぶ ②安定した運営に向けての中期ビジョンづくり

開催日：11/1（土） 講師：井野口房雄氏 参加者4団体7名

運営上の課題の整理、事業成功のカギ「正しい事業戦略」「好ましい組織風土」に向けてワークを行いました。

■企業とNPOの寄附付き商品プロジェクト「支え人。」

初の寄附金贈呈式、3NPO法人に6社様から256,148円の寄附金を頂きました。



■市民活動団体大交流会

子ども会やPTA等のお世話をしている人たちが、「市民活動の力を借りて、大変な中にも充実感を感じることができるようになること」、「多様な市民活動団体が地域を豊かにするものとして広く市民に知ってもらえること」を目的に、NPO、子ども会、親父の会のトークセッションや交流ワークを実施。開催日：12/7（日） 参加者：51名



■さぼカフェ

①ボランティアを語る 開催日：6/15（日）、7/13（日） 参加者：9名

市民活動団体、大人ボランティア、学生、中間支援者など10代～60代の参加者に、ボランティアについてトコトン語ってもらいました。結論はもちろん「おもしろいのあるまちにしていくためにもボランティアは絶対必要！」ということになりました。

②聞かせて団体さ～ん 開催日：3/9（月） 参加者：10名

「団体同士の交流」、「今後のさぼらんでの支援の検討」をするために活動年数の違う団体の参加を募り、運営課題を整理していきました。



■ネットワーク・コーディネート

①生命のメッセージ展 in さぼらんで 開催日：2/2（日）～2/8（日）

被害者遺族の会「ピアサポートこはる」の持ち込みイベントを中心に複数の団体がゆるやかな事前打合せを通して、主体的に事業提案していく中に出来上がり、最終的に11団体の協力を得た繋がりを感じたイベントとなりました。

②東日本支援チャリティ屋台 開催日：8/6（水）、8/7（木） 協力者：のべ19名

東日本支援の登録団体による「あの街に桜が咲けば山口上映実行委員会」と学生ボランティアをコーディネートし、ちょうちん祭りに併せてポップコーンを販売、41,925円を寄附。

③Yuccaサロン 開催日：5/28（水）、6/15（日）、7/4（金）、10/10（金）、12/7（日） 学生のべ44名参加。市民活動団体との交流や、ボランティアのコーディネートをしていきました。

■市民&市民活動団体に向けての広報紙の発行

市民の社会貢献の輪を広げて行くために、市民広報スタッフによるカジュアルな広報誌「ええやん新聞」を30,000部発行、市内各所、幼稚園、保育園、小・中学校に配布。その他「活動インフォメーション」、事業ごとの「かわら版」「助成金情報」を発行。

